

エコアクション21

環境経営レポート

(2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日 活動報告)

作成日 2025 年 6 月 27 日



ごあいさつ

有限会社マルク工業は、昭和42年創業以来アルミダイカスト製品の加工一筋に歩んでまいりました。

“限りある資源を大切に、地球環境への配慮と社会に貢献する”という理念のもとに、エコアクション21の活動を11年継続してきました。今後もより良い製品、より良いサービスの提供に努めてまいります。

「環境経営レポート」にまとめましたので、ご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき、次の環境経営活動に生かしていきたいと存じます。

有限会社 マルク工業

代表取締役 平野 昌吾

環境経営方針

基本理念

有限会社マル久工業は、製造生産企業として、社会に貢献すると共に地球環境と深い関わりを持っている事を自覚し積極的に環境保全に取り組み、社会的責任を果たしていく為に、全員の力で推進し、地域社会と共にあり続ける企業づくりを目指します。

環境経営方針

1. 生産活動において製品不良の削減および化学物質の管理を進めます。
2. 地球環境保護のために省資源、省エネルギー、リサイクル活動を推進する。主にCO2排出の低減に努めます。
3. 消耗品および備品購入の際、グリーン購入を進めます。
4. 環境関連法規制を遵守します。
5. 全社員へ環境に関して教育を行い、環境保全の意識を高めるとともに、工場周辺の清掃等に参加し、地域社会の環境保全に貢献します。
6. 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。

2009年9月1日 制定

2019年2月18日 改定

有限会社 マル久工業

代表取締役 平野 昌吾

組織の概要および対象範囲

会社名および代表者名

有限会社マル久工業

代表取締役 平野 昌吾

所在地

本社工場

住所 〒431-0203 静岡県浜松市中央区馬郡町3762番地の51

TEL 053-449-1117 FAX 053-449-1121

Mail maru-hisa@energy.ocn.ne.jp

第二工場、第三倉庫

住所 〒431-0203 静岡県浜松市中央区馬郡町2476番地の21

電話 053-592-1237 FAX 053-596-1237

Mail maruhisa2@energy.ocn.ne.jp

事業の概要・対象範囲

アルミダイカスト製品のバリ取り

(4輪・2輪等ダイカスト製品一般を精密プレス、タッピングセンター、ボール盤、ショットブラスト等を使用し、シフトバルブ、シリンダーヘッドカバー、フロントケースのバリ取り、穴あけ、研磨、塗装前梨地等を行う)

認証・登録範囲

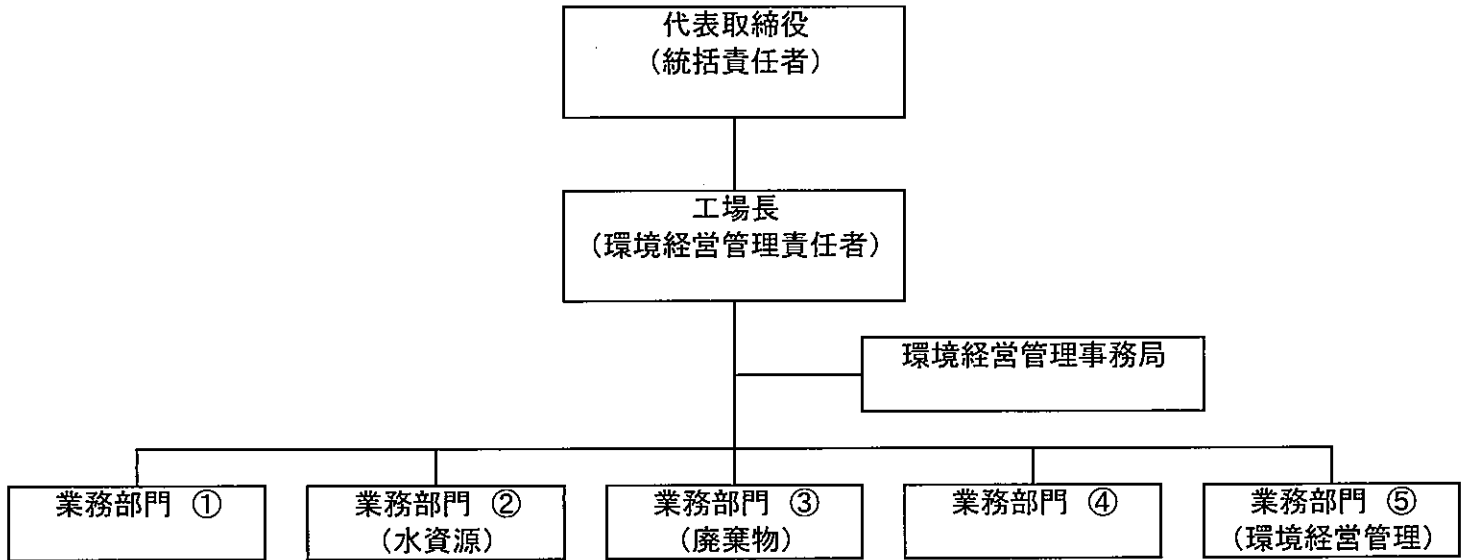
本社工場、第二工場、第三倉庫が全組織、全活動である

事業の規模

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
		(2022.2 ~ 2023.1)	(2023.4 ~ 2024.3)	(2024.4 ~ 2025.3)
総製品生産量	t	2,720	3,321.5	3,309
従業員(本社)	人	25	22	18
工場床面積(本社)	m ²	990	990	990
従業員(第二)	人	6	11	13
工場床面積(第二)	m ²	495	495	495
従業員(合計)	人	31	33	31
工場床面積(合計)	m ²	1,485	1,485	1,485

エコアクション21組織および実施体制

環境経営管理体制



役割・責任・権限

代表者

- 環境経営に関する統括責任
- 環境経営管理責任者の任命
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な人材・設備・資金等の準備
- 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
- 環境経営目標・環境経営計画の承認
- 代表者による全体の評価と見直し
- 環境経営レポートの承認
- 緊急事態発生時の統括

環境経営管理責任者

- 環境経営システムの構築・実施管理環境関連法規等の把握と管理
- 環境経営目標・環境経営計画書の確認
- 環境経営の推進状況把握と代表者への報告
- 環境経営レポートの確認

環境経営管理事務局

- 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成
- 環境経営の実績集計
- 環境関連法規等取りまとめ表の作成
- 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
- 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- 環境経営レポートの作成・公表

部門管理者(従業員)

- 自部門における環境経営システムの実施
- 自部門における環境経営方針の周知
- 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- 自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告
- 自部門の問題点の発生、是正、予防処置の実施

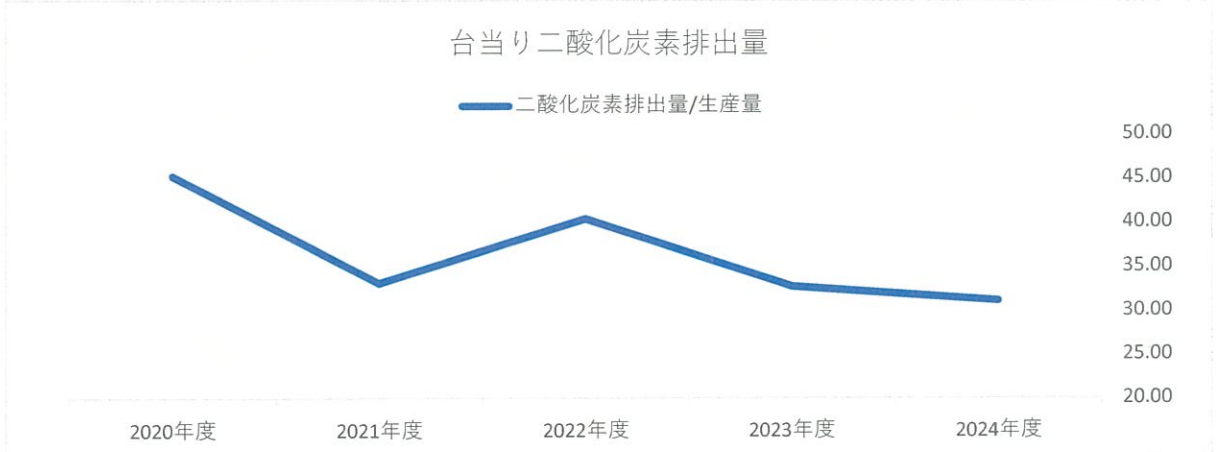
環境への負荷の状況

当社における過去3年間に渡る実績は、下記の通りです

環境への負荷		単位	2022年度	2023年度	2024年度	
総製品生産量	製品生産量など	t	2,720	3,321.5	3,309	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	109,737	108,698	102,892	
エネルギー使用量	購入電力	kWh	206,086	205,042	198,827	
	化石燃料(ガソリン・軽油・灯油・LPG)	ℓ	2,025.2	1,804.3	4,590.3	
	新エネルギー					
	その他					
廃棄物排出量	一般廃棄物	再生利用	t			
		熱回収	kg	1,154	1,820	1,988
		最終処分量	t			
		その他	t			
	産業廃棄物	混合廃棄物	kg	0.7	2.03	3.68
		集塵機の粉塵	kg	3,430	3,536	5,670
水使用量	上水	m ³	330	470	565	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
総排水量	公共用水域(第二工場)	m ³	124	154	202	
	下水(本社工場)	m ³	206	316	363	

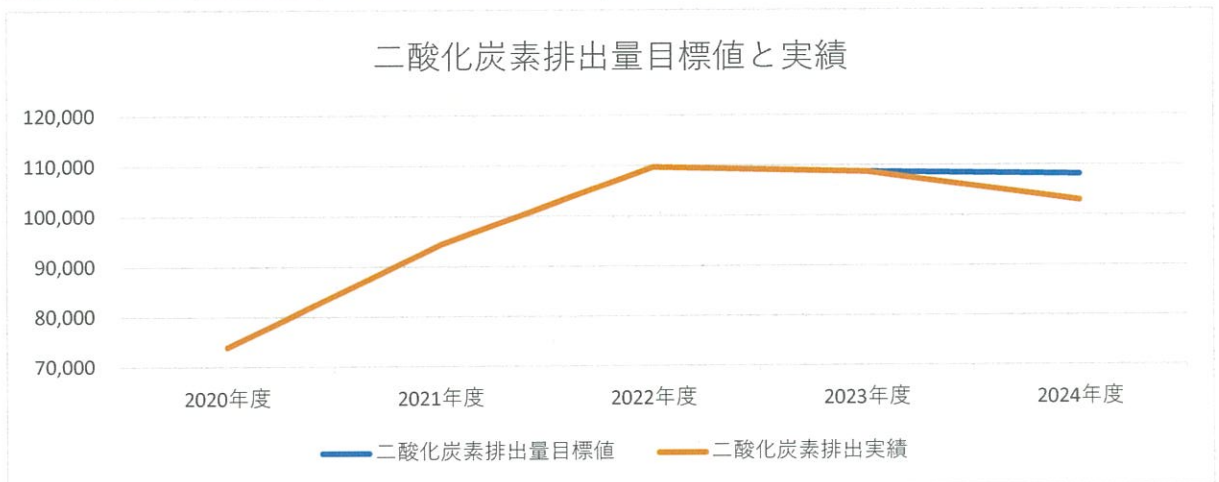
二酸化炭素排出量/台当り

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素 (kg-CO2)	73,919	94,420	109,737	108,698	102,892
製品生産量	1,636	2,854	2,720	3,322	3,309
二酸化炭素排出量/生産量	45.18	33.08	40.34	32.73	31.09



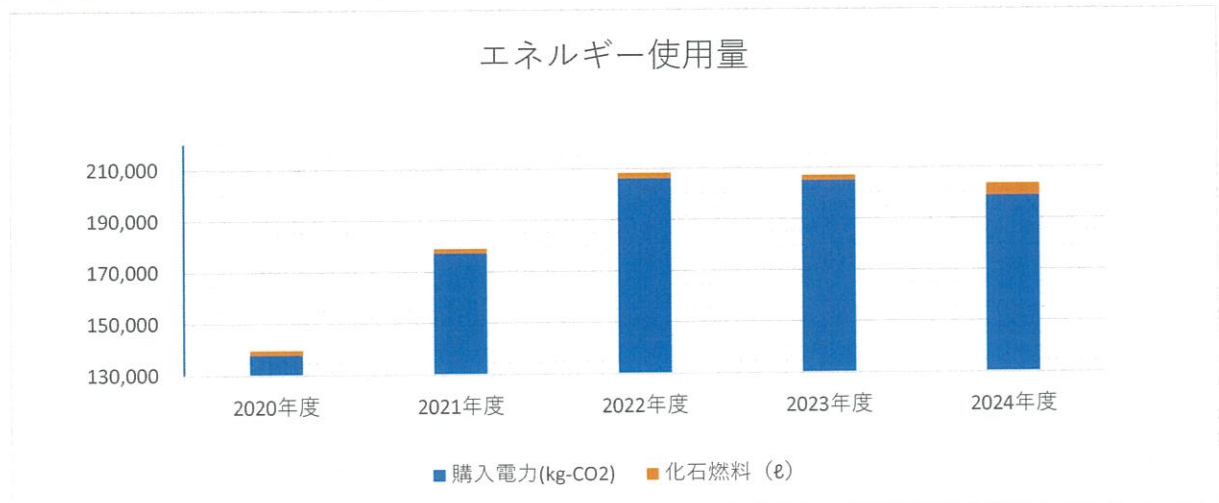
二酸化炭素排出量の目標値と実績

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量目標値			109,737	108,698	108,154
二酸化炭素排出実績	73,919	94,420	109,737	108,698	102,892



エネルギー使用量

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
購入電力(kg-CO2)	137,873	177,156	206,086	205,042	198,827
化石燃料(ℓ)	1,515	1,720	2,025	1,804	4,590



環境経営目標と実績

2024年度 環境目標と実績

環境経営目標		単位	2023 年度実績		2024 年度環境目標と実績			評価
			基準値		目標値	目標数値	実績値	
			生産量	3,322 t	2023 年度比	総量 (トン当たり)	生産量	
総量 (トン当たり)	総量 (トン当たり)	総量 (トン当たり)						
製品に関する項目	手仕上げ不良の削減	件	4	4 件	4	4	○	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	108,698	-0.5 %	108,154	102,892	○	
			33		32.6	31.1	○	
エネルギー使用量	購入電力	kWh	205,042	-0.5 %	204,017	198,827	○	
			62		61.4	60.1	○	
	ガソリン	ℓ	1,149.2	-0.5 %	1,143	658.00	○	
			0.347		0.344	0.199	○	
	軽油	ℓ	0.0	-0.5 %	0	3,186.00	×	
			0.000		0.000	0.963	×	
	灯油	ℓ	588	-0.5 %	585	696	×	
			0.178		0.176	0.210	×	
液化石油ガス(LPG)	kg	67.07	-0.5 %	67	50.30	○		
		0.020		0.020	0.015	○		
一般廃棄物	熱回収	kg	1,819.8	-0.5 %	1,810.7	1,988.0	×	
			0.5500		0.545	0.601	×	
産業廃棄物	混合廃棄物	kg	2.03	-0.5 %	2.02	3.7	×	
			0.5500		0.001	0.001	×	
水使用量	上水	m³	470.0	-0.5 %	468	565	×	
			0.142		0.141	0.171	×	
グリーン購入	グリーン購入対象		グリーン購入に配慮する			○		

※ 電気事業者別排出係数は令和5年12月22日環境省・経済産業省公表資料より排出係数0.459kg-CO2/kghを使用(2024年から2026年まで使用する)

目標未達項目	発生原因	是正処置
軽油	2024年度より納入便を自社便に変更したため軽油使用量が増え目標未達になった	目標値の見直しをする
灯油	春先の灯油の購入が多すぎた	来年冬に利用する
一般廃棄物排出量	一般廃棄する備品の節約が出来なかった	軍手のウエス利用とコピー用紙の再利用を徹底する
混合廃棄物	再利用できるものも混合廃棄物として処理していた	再資源化できるものは引き取り業者に処理してもらうよう変更する
水使用量	節水の徹底が出来なかった	全従業員へ節水の徹底教育を行う

中・長期環境経営目標

環境経営目標		単位	2024 年度目標 (2023 年度比)	2025 年度目標 (2023 年度比)	2026 年度目標 (2023 年度比)
製品に関する項目	手仕上げ不良の削減	件	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
エネルギー使用量	購入電力	kWh	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
	ガソリン	ℓ	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
	軽油	ℓ	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
	灯油	ℓ	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
	ガス(LPG)	kg	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
一般廃棄物	熱回収	kg	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
産業廃棄物	混合廃棄物	kg	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
水使用量	上水	m ³	-0.5 %	-1.0 %	-1.5 %
グリーン購入	グリーン購入対象	グリーン購入の促進			

※ 当社の産業廃棄物は集塵機の粉塵であり、これを低減することは、目標としては謳えない

2024年度 環境経営計画と取組結果

計画○× 実施●×

項目	実施内容	担当者	計画	2024年度												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
製品・サービス	手仕上げ不良件数の削減	全従業員	予定			○				○			○		○	
			実施			●				●			●		●	
エネルギー使用量の削減	休憩時間の消灯の徹底	大澤・吉田・服部	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	作業終了時の消灯の徹底	山本	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	冷暖房設定温度を表記し遵守する	吉田・服部	予定				○	○				○	○	○	○	○
			実施				●	●				●	●	●	●	●
	エアコンフィルター清掃を行う	吉田・服部	予定			○					○					
			実施			●					●					
	【機械関係】 作業終了時の電源OFFの徹底	全従業員	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
【機械関係】 不必要なアイドル運転の削減	全従業員	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コンプレッサーの節電	大澤・吉田	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ショットブラストの節電	吉田・大澤	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
【バッテリーフォークリフト】 バッテリー液(蒸留水)の定期補充	杉浦	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
【バッテリーフォークリフト】 運転終了時の電源OFFの徹底	杉浦	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏面の再利用	服部	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ゴミ分別の徹底	全従業員	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
水使用量の削減	節水の徹底	全従業員	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
法規制遵守への対応	遵守状況の確認	山本	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
地域社会の環境保全	会社周辺の清掃活動の実施	全従業員	予定		○			○				○				
			実施		●			●				●				
グリーン購入	グリーン購入の促進	山本	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

取組結果の評価および次年度の取組内容

作成日：2025年6月27日

実施者：山本 隆史

項目	実施内容	評価	次年度の取り組み
製品・サービス	手仕上げ不良件数の削減	目標の件数出来た	継続する
エネルギー使用量の削減	休憩時間の消灯の徹底	消灯出来た	継続する
	作業終了時の消灯の徹底	消灯出来た	継続する
	冷暖房設定温度を表記し遵守する	使用時温度管理出来た	継続する
	フィルター清掃を行う	計画通り出来た	継続する
	【機械関係】 作業終了時の電源OFFの徹底	徹底出来た	継続する
	【機械関係】 不必要なアイドル運転の削減	配慮出来た	継続する
	コンプレッサーの節電	節電出来た	継続する
	ショットブラストの節電	節電出来た	継続する
	【バッテリーフォークリフト】 バッテリー液(蒸留水)の定期補充	定期補充出来た	継続する
【バッテリーフォークリフト】 運転終了時の電源OFFの徹底	徹底出来た	継続する	
廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏面の再利用	配慮出来た	継続する
	ゴミ分別の徹底	配慮出来た	継続する
水使用量の削減	節水の徹底	節水出来た	継続する
法規制遵守への対応	遵守状況の確認	確認出来た	継続する
地域社会の環境保全	会社周辺の清掃活動の実施	計画通り出来た	継続する
グリーン購入	グリーン購入の促進	計画通り出来た	継続する

環境関連法規制取りまとめ表(遵守評価記録)

作成日 : 2025年6月27日

承認	作成
平野	山本

1.当事業所に適用される環境関連法規への違反は、下記の通りありません

法規制等の名称	該当する要求事項	該当設備・項目	評価	
			評価者	判定
騒音規制法	・特定施設の事前届出 ・規制基準の遵守	本社工場 油圧プレス (294kW) 1台 機械プレス (343kW) 1台 圧縮機 (15kW) 1台 圧縮機 (7.5kW) 2台 第二工場 油圧プレス (147kW) 1台	山本	○
振動規制法	・特定施設の事前届出 ・規制基準の遵守	本社工場 油圧プレス (294kW) 1台 機械プレス (343kW) 1台 圧縮機 (15kW) 1台 圧縮機 (7.5kW) 2台	山本	○
廃棄物処理法	・委託基準: 一般収集事業の許可の確認 ・委託基準: 産業廃棄物の収集運搬・処理事業者の許可の確認と契約 ・保管基準: 掲示版 (60cm × 60cm以上で表示) 飛散、浸透防止 衛生管理 ・マニフェストの交付と管理 ・交付等状況報告書	一般廃棄物: 古紙・古布・草木類・燃えるゴミ等 産業廃棄物: 金属くず・廃プラスチック類・木くず等	平野	○
浄化槽法	・浄化槽設備 ・浄化槽の届出 ・浄化槽の保守点検清掃 ・浄化槽の定期検査	単独浄化槽 7人槽 1基	平野	○
家電リサイクル法	販売店または指定引き取り場所への持ち込み	TV・エアコン・洗濯機・冷蔵庫	平野	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	使用済み自動車の適正処理	平野	○
フロン排出抑制法	法令順守	HFCスポットクーラーの点検と処分方法	山本	○

2.外部からの違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありません

報告	作成
山本	山本

作成日：2025年6月27日

項目		確認(必要に応じて評価・コメントを記載)
1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました
2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載しました
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題はありませんでした
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告のとおり
8	その他()	<input type="checkbox"/>

2024年度は、2022年度と比較すると総生産量が約20%増加した。それに伴い、二酸化炭素排出量も増加したが、経営的な観点で見ると生産量の増加は、喜ばしいことである。
ただ、2023年度のようにトン当たりでの減少があればよかったと思う。

ささいな所で、蛍光灯のスイッチの切り忘れ、水道の蛇口の緩み等がたまに見受けられるが、エコアクションの活動に対する意識は定着してきていると思われる。

来期も、弊社の課題というよりは命題である不良数の削減に努める。
そして、生産における工程の内容、効率を見直し、経営改善に繋げていきたい。

2025年6月30日
有限会社マル久工業
代表取締役 平野 昌吾

見直し項目		変更の必要性	指示事項
1	環境経営方針	有・ <input type="radio"/> 無	
2	環境経営目標	有・ <input type="radio"/> 無	
3	環境経営計画	有・ <input type="radio"/> 無	
4	実施体制	有・ <input type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	有・ <input type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応)	有・ <input type="radio"/> 無	